

# No. 1319

## 花の戦国絵巻

— 山梨・石和 —

いつもより早い桃の開花も終り、初夏を思わせる山梨県、石和。笛吹川の水も、もうぬるみ、川では子供たちが水遊びに興じている。4月の花祭りのフィナーレを飾る行事として、川原では、川中島の戦いを再現した川中島合戦絵巻が披露された。これは武田信玄と上杉謙信の両雄が激しい合戦をくりひろげた様を現代の人に知ってもらおうという試みで行なわれたもので馬20頭、500人の武将が出演した大ががりなもの。約2万人の見物人たちは川原でくりひろげられた戦国の絵巻を心ゆくまで楽しんだ。

## 美濃部都政12年

3月7日、定例都議会で最後の演説をする美濃部東京都知事。美濃部都政12年の跡を受けて都知事選挙には、鈴木俊一、太田薫、麻生良方の3氏が立候補。三者共まだまだ都民に根強い人気を持つ美濃部知事をつぎだそうとしたが知事は告示の翌日中立を守らざるを得ない苦しい立場から親善訪問と名うって北京に逃飛行。昭和42年美濃部知事は社会、共産の推せんで都知事に立候補、自民、民社の松下氏を接戦の未破って当選、革新都知事の誕生となった。都民との対話をモットーに美濃部知事は公害問題、福祉行政に積極的に乗り出した。排気ガス、ばい煙、騒音を取締る公害パトカーをスタートさせ、社会問題化した公害と取り組んだ。福祉行政にもおしみなく力をそそいだ。心身障害者福祉手当の支給、無認可保育園への助成など、民生局関係だけで福祉に投じた額は二千億円に登った。東京は空も川もきれいになってきた。

ゴミとヘドロで汚れた海や川には魚がもどってきた。生活環境も整備され、灰色だった東京に少しづつ緑が還ってきた。都の財政危機が叫ばれて久しい。公営ギャンブルの全廃、構造不況での法人税の減収、加えて高い人件費。せっかく軌道に乗ってきた、65歳以上の老人の無料医療、バスの無料バスは今消えようとしている。都職労委員長の向谷氏は「財政危機は問題のすりかえである。美濃部知事に責任を負わせるのは根本から論理がちがう」と語る。美濃部知事の最後の夢であったアセスメント条例案は昨年9月から継続審議というタナざらしとなっている。「私の公害行政の総決算」とこの条例成立には情熱をかたむけてきたがついに果せず悔いのこのころものとなった。

4月23日、新知事に決まった鈴木俊一氏が初登庁、美濃部知事は笑顔で新知事を迎えた。美濃部知事にとっては長かった12年の知事生活最後の日。分厚い「知事事務引継書」に新旧両知事がなつ印。都政のバトンタッチが行われた。一都民にもどった美濃部さんは都職員など3,000人に見送られ、「美濃部スマイル」を残して都庁を後にした。